

図書館へようこ！ 2022 年秋

10月20日(木)～11月9日(水)

要予約

まどかフェスティバル × 図書館へようこ！！
本で楽しむボードゲーム



図書館で本にまつわるボードゲームをしませんか？
初心者＆お一人での参加も大歓迎です！

日程: 11月6日(日) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00

場所: 大野城まどかぴあ 1F 多目的ホール

定員: 各回 20名 × 2回 対象: 中学生以上

申込: 10月18日(火) 10時より

図書館カウンター・電話での事前受付(先着順)

読書週間×図書館へようこ！！ お楽しみ袋

テーマに合った本をセットにした袋を準備しています。
どんな本が入っているかは、借りてからの楽しみ！

日時: 10月20日(木)～11月9日(水)

会場: まどかぴあ図書館内

～図書館の開館時間～

開館時間	日曜日～木曜日	10:00～18:00
	金曜日	10:00～20:00
	土曜日	10:00～19:00

休館日 毎月第1・3水曜日(祝日の場合は次の平日)
年末年始(12月28日～1月4日)

大野城まどかぴあ図書館

第49号
2022 秋号

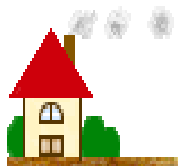
10代のための図書館情報誌

わいわいぱら

秋の夜長は ゆったり読書を



まどかぴあ図書館には、10代の方に読んでもらいたい本を集めたYAコーナーがあります。



おすすめの本



『香君』上・下

上橋 菜穂子／著（文藝春秋）〔F／ウエ〕

動植物の香りから物事を知ることができる「香君」と呼ばれる生き神の存在を中枢に、救いの稲である「オアレ稲」を用いて栄えてきたウマル帝国。驚異の繁殖力を誇るオアレ稲に、ある時虫害が発生し…。稲の繁栄により安定を築き、他国を支配してきた帝国はどうなっていくのか。属国の藩王の孫であり、香君よりも「香りの声」を聞くことに長けた少女、アイシャは、食糧危機によって困窮する民を救うために奔走する。
上橋菜穂子7年ぶりの新作長編。



『どろぼうの神さま』

コルネーリア・フンケ／著（WAVE 出版）〔943／フ〕

12歳の少年プロスパーは、5歳の弟と共に大嫌いな叔母夫婦のところから逃げ出した。たどり着いたのは亡き母が憧れていたヴェネチア。しかしすぐにお金が底をつき困っていたところ、同じような境遇の子どもたちと出会い、一緒に廃墟で暮らし始める。リーダーのスキピオは「どろぼうの神さま」と呼ばれ、高価な品々を盗み出し生計を助けてくれた。ある日、骨董屋から一味に泥棒の依頼が届く。さらにスキピオには大きな秘密があって…。謎と冒険がつまったファンタジー。



特技を活かして！



『ハジメテヒラク』

こまつ あやこ／著（講談社）〔YA／F／コマ〕

わたの綿野あみの秘密の趣味は、脳内で実況中継をすること。口に出すと、つい突っ走ってしまうので、いつも声には出さずに楽しんでいった。そんな中、成り行きで生け花部に入部したあみは、作法を教わりながら、生け花にも少しずつ興味を持ち始めていく。そして、ある目的のため文化祭の生け花ショーで初めて実況中継をすることを決意する。さて、観客が見ている前で成功させることができるのか。自分のやりたいこと、目指す道にまっすぐ突き進んでいく青春物語。



『中高生のスポーツハローワーク』

スポーツを仕事にしたい君へ』

（学研プラス）〔YA／780／チ〕

スポーツ界の第一線で活躍する選手をサポートするトレーナー、管理栄養士、また、チームを支える球団職員やスポーツ少年・少女を指導する教師など、スポーツに関わる仕事は選手だけではありません。選手を支える仕事に就いた15人の方々も、悩みながら自分の仕事を見つけました。スポーツに興味のある人もない人も、自分の将来を考える時に前向きにさせてくれる1冊です。



わいわいばら

2022年秋

読書の秋スペシャル!

読書の秋ということで、初のスペシャル版を発行！市内各中学校の図書室の先生に、オススメの本を聞きました。気になる本はぜひ、手に取ってみよう♪

『イヌがおしえるイヌの本音』

飼い主さんに伝えたい130のこと

井原 亮／監修（朝日新聞出版）

【問】「チワワ先生、飼い主が、しつこく名前を呼んできます。」【答】「とりあえずチラ見しておきましょうか。」イヌの行動、体のヒミツなどについて、イヌ自身が「イヌの悩み」にお答えします。飼い主が、思わずハッとするイヌの本音満載！可愛いイラストも魅力的！（平野中学校）

『お探し物は図書室まで』

青山 美智子／著（ポプラ社）

悩みを抱えた人が立ち寄った町の小さな図書室。不愛想なのに聞き上手な司書さんが選んでくれた本は、絵本や図鑑など少し変わった作品で、おまけまで付けてくれます。自分が本当に探している物に気がつき前へ進みだす人たち。自分を大切に生きようと思える本です。（大野東中学校）

『大人も知らない？ふしぎ現象事典』

「ふしぎ現象」研究会／編（マイクロマガジン社）

「見ちゃダメ！」と言われると、気持ちは余計に見たくなる！それ、実は「カリギュラ効果」という現象なんです。あなたの身の回りで起こる、よくある現象にはちゃんと名前がありました。今までふしぎに思っていたことも、答えがスッキリ見つかるかも!?（御陵中学校）

『さようなら、オレンジ』

岩城 けい／著（筑摩書房）

主人公サリマは戦火を逃れ、難民として異国の地に辿り着きます。精肉加工業務に就き、必死に生きるなか、自ら英語を学ぶことで「言葉」を獲得し、自分の居場所を見つけていく。厳しい境遇のなかでも、たくましく生きていく姿に勇気をもらえる一冊です。（大利中学校）

『神さまの貨物』

ジャン＝クロード・グランベール／著（ポプラ社）

赤ちゃんを待ち望んでいた女性の元に、ある日列車から赤ちゃんが投げ渡された！時は世界大戦下…。いったいなぜ？この子の運命は？赤ちゃんを手放した人の思いと受けとった人の思い。命は守られるのか…。命の尊さを感じる物語です。（大野中学校）

図書室は、たくさんの本を準備してみなさんを待っています。まどかぴあ図書館はもちろん、自分の中学校の図書室もぜひのぞいてみてください。

